



玉串をささげ、豊漁を祈願する参列者（9月8日、鹿島御児神社）

大漁と安全祈る 各地区で祈願祭

秋漁が本格化するのを前に、当組合は9月、豊

漁祈願祭を県内3地区に分けて執り行い、海上安全や大漁を願った。

8日に石巻市の鹿島御児神社であった中部地区の祈願祭には関係者約20人が参列。神職の祝詞奏上に続き、寺沢春彦組合長と石巻総合支所の木村千之運営委員長らが玉串をささげ

玉串をささげ、豊漁を祈願する参列者（9月8日、鹿島御児神社）

宮城県産乾のりの今季生産が着々と進んでいる。8月下旬から9月中旬にかけては当組合各支所の陸上採苗施設で種付け作業が行われた。昨季は天候不順の影響で大減

乾のり生産着々 巻き返しへ決意

の鹽竈（しおがま）神社で祈願祭を営んだ。



巨大水車を使って行われた七ヶ浜支所の種付け作業（8月31日）

産に終わっただけに、生産者は巻き返しを誓う。七ヶ浜支所の陸上採苗用水車は直径6メートル、長さ2基（6車）ある。8月31日は吉田浜の生産者が前日の午後11時から1車につき長さ18メートル、幅1.3メートルの網を14枚重ねて巻き、ノリの胞子が入った水槽に何回転もくぐらせた。顕微鏡で1視野当たり30〜40個の付着を確認し、半日かけて1728枚の種網を作った。

支所管内の昨季生産量は前季比2割減の約6800万枚。シーズンを通して天候不順が大きく響いた。米

養塩不足による色落ちが多発し、温暖化に起因するクロロアイやカモの食害にも見舞われた。今季は漁場環境の把握徹底に努め、1億枚を目指す。

鈴木信悦部会長は「近年は海洋環境の変化で思うような生産ができないが、意欲のある若手も増えて、浜に活気が生まれてきた。問屋が競ってでも買いたくなる安全・安心な乾のりを出荷したい」と意気込む。

七ヶ浜支所のり部会の鈴木信悦部会長は「近年は海洋環境の変化で思うような生産ができないが、意欲のある若手も増えて、浜に活気が生まれてきた。問屋が競ってでも買いたくなる安全・安心な乾のりを出荷したい」と意気込む。

11月中下旬には全国の産地のトップを切って今季共販が始まる見通し。万3335円。

量が前季比30%減の2億6240万枚、金額が同24%減の26億3303万円。1枚当たりの平均単価は同8%高の10円03銭と2季ぶりに10円台を回復した。コロナ禍や、コンビニ店でのりを使わないのに商品が増えた影響などを受ける一方、家庭用車上りのり需要は伸長。明太子やわさび風味といったフレーバータイプが人気を集める。

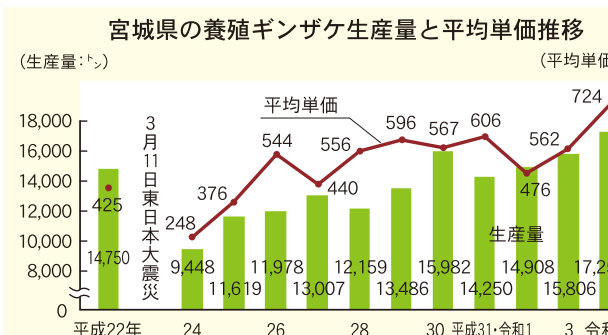
ギンザケ

水揚げ高4割増124億円超

計画上回る1万7253ト



女川魚市場に水揚げされたギンザケ（3月14日）



回復。昨年同様に量販店での販売は好調で、原料の安定確保を目指す冷凍加工業者からの引き合いも強かった。ロシアのウクライナ侵攻などに伴う海外産の輸入減少も背景に、シーズンを通して高値を保った。



当組合は10月11日、宮城県産食用むき身力キ（鮮力キ）の出荷を開始した。今季の出荷見込みは前年並みの1600ト。安全・安心でおいしい

鮮力キ出荷スタート

CO2削減へ容器リサイクル

会館の10キログラムあたり平均単価は昨季より3割ほど高い2万8800円、最高値3万6千円と、幸先の良いスタートを切った。

今季の宮城県産養殖ギンザケは序盤から高値を維持したまま水揚げを終了した。当組合のまとめによると、シーズン全体の平均単価は前季比29%高のキロ724円と平成以降最高を記録。数量は同9%増の1万7253トで、金額は同41%増の124億8538万円と大きく伸長した。ウクライナ情勢などで海外産の搬入が鈍る中、身質の良さと高鮮度を武器に国産ブランドをリード。記録的な販売実績を残した。

平成以降最高キロ724円

水揚げを迎えた。序盤は春先の低水温による成育の遅れで数量が伸びなかったが、徐々に

回復。昨年同様に量販店での販売は好調で、原料の安定確保を目指す冷凍加工業者からの引き合いも強かった。ロシアのウクライナ侵攻などに伴う海外産の輸入減少も背景に、シーズンを通して高値を保った。

るケースも増えた。コロナ対応の行動制限が緩和された影響で、外食向けの需要も一定程度回復。計画を1200トほど上回る数量を生産し、石巻は7月21日、志津川は同22日、女川は同26日に水揚げを終えた。昭和51年に始まった宮

城県のギンザケ養殖。東日本大震災で水揚げは一時ゼロに落ち込み、翌年の価格は原発事故の風評被害を受けて暴落した。近年はチリ産との価格競争を強いられている。今季の販売実績は数量、平均単価、金額いずれも震災以降で最高だった。

た。金額が100億円の目安を超えるのは平成4年以来30年ぶり、過去4番目に高い水準。各地でサケマス類の「ご当地サーモン」が急拡大する中、今後も国産ブランド成長のけん引役を担う。

日、みやぎサーモンがベトナムでGI登録されたと発表した。みやぎ銀さけ振興協議会が登録を申請していた。ブランドの保護や輸出拡大の後押しになると期待される。日本の水産物が海外への直接申請でGI登録されるのは初めて。

豊かな海を次世代へ

漁業資源の枯渇、海の温暖化、酸性化、プラスチックの流入……。海洋環境の悪化が急速に進んでいる。各支所では、豊かな海を取り戻し、新たな水産資源につなげる取り組みが活発化している。

浜藻場の拡大へ妙手 表着定基質3種投入

表浜支所管内の海域に今夏、アミノ酸を混ぜ込んだコンクリートプレートなど3種類の藻場着定基質が投入された。藻場の再生を図る令和2年8月策定の「宮城県藻場ビジョン」に基づき、ハード整備で、漁獲減少の要因となる磯焼けを解消し、漁業者の収入確保につなげようという試みだ。



投入されるシェルナース

県によると、平成27年に1955畝だった沿岸海域の岩礁性藻場面積が、令和元年は半分以下の868畝に縮小。同じジョーンでは、当組合7支所（気仙沼地区・大島、志津川、雄勝町東部、女川町、谷川、表浜、七ヶ浜管内でハードとソフト両面による対策を講じ、11年度までの10年間で藻場を約1800畝に倍増させる目標を掲げる。

計画では、海底で海藻の苗床となるコンクリート構造物などを投入。高温化でも消失しない核となる藻場を21畝ほど造成し、母藻から放出される胞子によって藻場拡大を目指す。増えすぎたウニの密度管理などのソフト対策も行う。

7月中旬、表浜で県内トップを切ったハード整備がスタート。組合員らが見守る中、8月下旬までに3種類、計1608個の投入を終えた。

アミノ酸の一種・アルギニンを含むコンクリートに混和したプレートは最多の1500個投入した。1個の大きさは縦60センチ、横80センチ、厚さ10センチほど。

湾アサリ保護に注力 石巻干潟拡大計画進行

石巻湾支所は、東日本大震災で被災し新たに造成された万石浦の干潟でアサリ保護に注力している。



熊手で砂をかき、アサリを掘り出す組合員

た背高構造の「柱状礁」には、海流に乗った胞子が付着。成長したコンブやアラメなどが海域全体に胞子を飛ばし、藻場拡大の拠点となる。柱状部はウニがはい上がりにくく、食害も防げる。メッシュパイプにカキ殻を詰めた「シェルナース」は動物プランクトンを増殖させ、魚類を呼ぶ餌場機能果たす。県は各浜の課題やニーズなどを把握して計画の見直し・改善を図りながら対策を進める考え。藻場が吸収する炭素は「ブルーカーボン」と呼ばれ、二酸化炭素(CO2)の吸収源としての役割も期待される。

100万個も放流し、資源の回復が確認された翌年から漁を再開した。東邦大の大越健嗣教授（前石巻専修大教授）と連携し、年間を通じて個体数を24カ所定点調査し資源保護に適した漁期や水揚量を決定している。今季は推定資源量45トンの25〜30%をめどに水揚げ。殻長2センチ以下は採取禁止と定め、出漁は産卵期前の6月1〜2、13〜14の4日間に限定した。近年、震災で沈下した地盤が徐々に隆起している。東北の地下深くで起きていた「スロー地震」が原因とみられ、潮間帯

5年前からアサリ漁を再開。漁期や漁獲上限、採取サイズを定め、今季は10トンを水揚げした。環境の変化を逆手に取った干潟拡大計画も進行中。資源の保護、増大に挑む。管内の干潟は震災前に40畝あり、年間30〜50トンの水揚げを誇る一大産地だったが、地盤沈下の影響で機能を失った。県が干潟再生事業を進めて平成28年に4畝が回復。生き残った母貝から人工採苗した種苗を育てた稚貝

「販売事業を行う漁協は、理事のうち一人以上は水産物の販売若しくはこれに関連する事業又は法人の経営に関し実践的な能力を有する者でなければならぬ」と定められている。また、協同の事業とは、経済的弱者らの相互扶助による事業であり、組合員それぞれの力を合わせることで組合員が助かるという事業のことです。しかも、そうした事業は組合員の参画によって打ち出されるものである。書かれている「協同組織の発達を促進し」という文言が骨抜きにされているように感じるからです。

「水産政策の改革」における政府の方針は、協同組合に対する理解が浅い人たちの発想そのものです。これがまかり通ることで、協同の事業を行う組織のことで

地区駆除ウニ有効活用 硯学びの機会創出も



かき漁を体験する子ども

が拡大して藻場が撤退し、底生生物の生息域が狭められたりしている。十分な水深を保っている。た航路が浅くなり、漁業活動への影響や漁船事故の発生なども懸念される中、隆起した分を削り取り、ウニと人を育てる「ことを目的に石巻専修大、フクダ海洋企画、フイッシュヤーマン・ジャパンの地元3者と「Ishinomaki Save the Ocean Project (ISOP)」を立ち上げた。活動初年度は13畝の磯焼け海域で1万8千個のウニを駆除し、いかに巻き付けて投入したコンブの量を900キまで増やした。育てた漁業者タイバーは4人。2年目の昨年度は田代島で陸上蓄養試験に取り組み、餌不足で身入りが悪いウニを漁業者の新たな収入源に変える方策を探った。

磯焼け対策を進めようと、石巻地区支所は増えすぎたウニの駆除と海中造林に力を注ぐ。藻場の保全再生を図りながら、漁業者タイバーの育成や、痩せウニの身入り改善、子どもたちの学びの機会創出などにも励む。国などの「水産多面的機能発揮対策事業」を令和2年に受託。「海を守り、ウニと人を育てる」ことを目的に石巻専修大、フクダ海洋企画、フイッシュヤーマン・ジャパンの地元3者と「Ishinomaki Save the Ocean Project (ISOP)」を立ち上げた。活動初年度は13畝の磯焼け海域で1万8千個のウニを駆除し、いかに巻き付けて投入したコンブの量を900キまで増やした。育てた漁業者タイバーは4人。2年目の昨年度は田代島で陸上蓄養試験に取り組み、餌不足で身入りが悪いウニを漁業者の新たな収入源に変える方策を探った。

と、石巻地区支所は増えすぎたウニの駆除と海中造林に力を注ぐ。藻場の保全再生を図りながら、漁業者タイバーの育成や、痩せウニの身入り改善、子どもたちの学びの機会創出などにも励む。国などの「水産多面的機能発揮対策事業」を令和2年に受託。「海を守り、ウニと人を育てる」ことを目的に石巻専修大、フクダ海洋企画、フイッシュヤーマン・ジャパンの地元3者と「Ishinomaki Save the Ocean Project (ISOP)」を立ち上げた。活動初年度は13畝の磯焼け海域で1万8千個のウニを駆除し、いかに巻き付けて投入したコンブの量を900キまで増やした。育てた漁業者タイバーは4人。2年目の昨年度は田代島で陸上蓄養試験に取り組み、餌不足で身入りが悪いウニを漁業者の新たな収入源に変える方策を探った。

と、石巻地区支所は増えすぎたウニの駆除と海中造林に力を注ぐ。藻場の保全再生を図りながら、漁業者タイバーの育成や、痩せウニの身入り改善、子どもたちの学びの機会創出などにも励む。国などの「水産多面的機能発揮対策事業」を令和2年に受託。「海を守り、ウニと人を育てる」ことを目的に石巻専修大、フクダ海洋企画、フイッシュヤーマン・ジャパンの地元3者と「Ishinomaki Save the Ocean Project (ISOP)」を立ち上げた。活動初年度は13畝の磯焼け海域で1万8千個のウニを駆除し、いかに巻き付けて投入したコンブの量を900キまで増やした。育てた漁業者タイバーは4人。2年目の昨年度は田代島で陸上蓄養試験に取り組み、餌不足で身入りが悪いウニを漁業者の新たな収入源に変える方策を探った。

と、石巻地区支所は増えすぎたウニの駆除と海中造林に力を注ぐ。藻場の保全再生を図りながら、漁業者タイバーの育成や、痩せウニの身入り改善、子どもたちの学びの機会創出などにも励む。国などの「水産多面的機能発揮対策事業」を令和2年に受託。「海を守り、ウニと人を育てる」ことを目的に石巻専修大、フクダ海洋企画、フイッシュヤーマン・ジャパンの地元3者と「Ishinomaki Save the Ocean Project (ISOP)」を立ち上げた。活動初年度は13畝の磯焼け海域で1万8千個のウニを駆除し、いかに巻き付けて投入したコンブの量を900キまで増やした。育てた漁業者タイバーは4人。2年目の昨年度は田代島で陸上蓄養試験に取り組み、餌不足で身入りが悪いウニを漁業者の新たな収入源に変える方策を探った。

と、石巻地区支所は増えすぎたウニの駆除と海中造林に力を注ぐ。藻場の保全再生を図りながら、漁業者タイバーの育成や、痩せウニの身入り改善、子どもたちの学びの機会創出などにも励む。国などの「水産多面的機能発揮対策事業」を令和2年に受託。「海を守り、ウニと人を育てる」ことを目的に石巻専修大、フクダ海洋企画、フイッシュヤーマン・ジャパンの地元3者と「Ishinomaki Save the Ocean Project (ISOP)」を立ち上げた。活動初年度は13畝の磯焼け海域で1万8千個のウニを駆除し、いかに巻き付けて投入したコンブの量を900キまで増やした。育てた漁業者タイバーは4人。2年目の昨年度は田代島で陸上蓄養試験に取り組み、餌不足で身入りが悪いウニを漁業者の新たな収入源に変える方策を探った。

新施策に説得力なし

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

協同組合論

北海学園大学
経済学部教授
濱田 武士

30



漁協の根拠法は水産業協同組合法です。これは昭和23年に制定され、施行されました。何度も修正され、平成30年12月には「水産政策の改革」で大改訂されました。しかし、この法律の第1条にある「この法律は、漁民及び水産加工業者の協同組織の発達を促進し、もつてその経済的社会的地位の向上と水産業の生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

業を行うに当たっては、水産資源の持続的な利用の確保及び漁業生産力の増進を図り、国民経済の発展を期することを目的とする」と、第4条にある「組合は、その行う事業によつてその組

組合からのお知らせ

信用共済部

JF共水連では今年度
保障点検キャンペーンを
実施しております。

JF共済以外にご加入
されている生命保険や
火災保険の証券の写し
をご提供いただいた方
へ、保障の点検や見直し
のお手伝いをするもの
です。

例えば生命保険なら、
・医療保障が十分か？
・万が一の保障に不足が
ないか？...など

火災保険では、
・建物の評価額に見合う
金額で加入しているか？
・家財道具の補償は漏れ
ていないか？...など

ご加入される際は、
きちんと説明を聞いて
納得していても、年月
の経過とともに曖昧にな
ってしまったら、長期間
経過している契約では
支払条件などが当時のま
まで、現在のニーズとの
ズレが生じることもあり

ます。
JF共水連では、ご提
供いただいた証券の内容
をもとに、皆様の保障を
万全にするためのプラン
をご提案させていただきます。

今のままで大丈夫？

《保障点検キャンペーン実施中!!》

また生命保険について
は、グラフなどを用いて
保障内容を可視化できる
【分析シート】もご提供
いたします。

証券の写しを「提供い
ただいた方には、お醤油
を注ぐとイメージキャラ
クター【まありん】が浮
かびあがる、オリジナル
豆皿を進呈いたします。

数に限りがございますの
で少しでも興味がありました
方は是非お早めに！
期間は来年3月31日ま
でとなっております。

◇ 詳細やご相談、証券の
ご提供については本所・
各支所の共済担当者まで
お声がけ下さい。



あなたの保障、
家族の保障、
家の補償は
大丈夫かな

浜のあんしんサポート運動

保障点検キャンペーン 実施中!

キャンペーン期間 ▶ 2022年4月1日～2023年3月31日

オリジナル
豆皿
プレゼント!

キャンペーン期間中に他社保障証券の
写しをご提供いただいた方に、
もれなくオリジナルの豆皿(2枚セット)を
プレゼントいたします。
詳しくは漁協にお問い合わせ下さい。

www.kyosuiren.or.jp



石巻湾支所 山田敬一さん(41)



鳴瀬支所 川畑雄太さん(36)

ゼロから作る面白さ、「おいしい」を聞く喜び

川畑雄太さんはおじい
さんの代から3代続くカ
キ漁家。震災直後から復
興の手伝い、家業の手伝
いをしていくうちに、カ
キ養殖の面白さにはま
り、以来、父と第八富士
丸で東名漁港から海に出
て、家族ぐるみで仕事を
している。

当時の、将来どうするか
はあまり考えてはいなか
ったというが、食べ物作
りから作るという仕事の
魅力に、自分の道を見
いだした。種を採って、
天候や海況を見ながら大
きく育て、出荷し、その
全てを自分で見ることが
できる。さらには、それ
を食べて人から「すく
おいしかった」という声
が聞こえてくると、喜び
は際限なく大きい。鳴瀬
のカキは、甘くて雑味が
なく、カキ本来のうま味
が味わえると昔から評価
が高い。

どの漁家も同じだが、
自然相手のため、思った
よりな養殖ができずに悔
しい思いをするときもあ
る。特に最近環境の
変化が激しいことを如
実に感じることも多く
なり、またカキの死滅な
どに悩まされることも少
なくない。海の温暖化に
対しても、沖出しの時期
を早めるなど、さまざま
に工夫を施して対処して
みる。

「ある程度自分の思っ
たように養殖ができる。
その責任も自分でかぶる
んですけど、自分で考
え、思ったように工夫し
て、成功したり失敗した
りして、『自分でやって
いる』という実感はとて
もありませんが、後継
者がいない生産者も、高
齢の方もいますし、いず
れ人が少なくなってしまう
んじゃないかという懸
念はあります。多分青年
の海底の状態の調査、種
ガキの調査、沖出しの時
期を見極めるためのシウ
リガイの種などの観測、
鳴瀬のカキを多くの人
が必要としてくれ、たく
い存在だ。

家庭では6歳の娘と4
歳の息子のよきパパ。な
かなかの重労働という仕
事も、筋トレで乗り切
る。次の時代を担う頼も
しい存在だ。

自分で決めて自分で行動できる、魅力ある仕事

山田敬一さんは万石浦
でカキ養殖をする漁家の
3代目。再開した万石
浦のアサリ採取にも参
加している。万石浦の
カキは1年物で生食出
荷され、小ぶりだが軟
らかくて甘く、くせがな
い。

小学生の頃から家業の
手伝いをしてきた。高校
生の頃には友達と一緒に
楽しく手伝ってお金も
もらえるようになり、す
っかり面白くなったとい
う。

父とともに海に出てい
るが、今年から代替わり
をした。今まで父が種の
選択などもし、駆け引き
をしてきたが、これから
自分で決めて自分で行動
できる、魅力ある仕事
にしたい。今までは種を
選んで育ててきたが、こ
れからは自分で決めて
自分で行動できる、魅
力ある仕事にしたい。

この7月の総会で、石
巻湾支所の青年部である
研究会の会長となった。
20歳の頃に加わり、在籍
は長い、震災後にもつ
とちゃんと参加しようと
決意を新たにしたいとい
う。

会員は20名ほどで、メ
インの活動は種ガキの観
測。ほかにはカキまつり
や大漁まつりを取り仕切
ってきた。女性部やほか
の組合員と協力して行事
にあたるなど、この活
動をやっているうちに、
活動が楽しくなってきた
という。

今後、近隣の青年部など
とも協力したり情報交換
をしたりできたらなおい
い。

「皆さんにもっといっ
ぱいカキを食べてもらい
たいですね。けっこうユ
ーチューブとかでもカキ
を使った料理を観たりす
し、のときなど、臨時で人
手が欲しいときに必要な
食材を集めるのが悩みの
点。趣味はバイクで林道を
走りに行くこと。もとも
と好きだったのが、先輩
の手ほどきで2年ほど前
から本格的に始めた。自
宅ガレージには泥のつい
た相棒のオフロードバイ
クが出番を待っている。
海でも陸でもエネルギー
が尽きない。

漁家経営の安定と持続に向けて

指導課と振興課があり、指導課の業務のひとつは、組合員資格の判定や加入脱退の審査。各支所に属する膨大な組合員の操業状況などをチェックし、審査している。また、漁業権の管理や適正な行使の指導、資源保護や操業体制などのルール作りなども重要な業務だ。海況が変わり、新たなルールづくりが必要になると、漁業者や県と一緒に検討する。



指導課と資源管理を主業務とする指導課と、水産振興を主業務とし国や県の補助事業を活用するなど経営安定化や経営維持支援を行う振興課の2つの課がある。職員9人。

「なんとか漁業者さんの収入が減らないようにしたい。悲痛な声も聞こえる。海難救助訓練やラ

土方規生次長代理

熊谷将士課長



イフジャケットの着用推進活動も行っている。さらには青年部・女性部とともに担い手育成や食育活動にも取り組む。各漁種別部会や委員会の事務局を担うことも多い。

振興課は、補助事業をメインに行っている。漁船リース事業や機器導入事業など国の補助金を活用した漁家経営の安定化に努め、相談などにも応じている。国や県などへの漁業政策の立案や支援等の要請活動、水産技術の普及改善や指導を行い、漁業共済や漁船保険の加入促進やセーフティネット事業など、災害時に備えた経営の維持支援を行っている。漁船リース事業では、漁業共済・

また指導部では、東日本大震災で失われた組合員の生産施設や漁船の早期復旧を目的として設立した北部・中部・南部の施設保有漁協の事務運営を、復興対策室から平成30年に引き継いだ。今年4月、ある程度の復旧のめどが立ったということで、宮城県漁協と吸収合併を果たし、その業務を終えている。

令和2年の漁業法改正で、TACの導入、海面利用制度、密漁対策などが改正制定された。来年9月には区画漁業権・共同漁業権の一斉更新がひかえており、それに向けて現在支所ヒアリングなどを実施し、漁場を適正かつ有効に利用できる環境整備も進めており、土

指導部 本所を訪ねて

七ヶ浜町水産振興センター

佐々木一仙センター長

大西孝尚さん



点として、ノリを主軸として各種魚介類の放流のための種苗生産・中間育成などを担ってきた。

東日本大震災で全ての機能が停止したが、漁家の経営再建・向上のために安定した高品質な種苗の確保と栽培漁業の推進は不可欠として、平成25年に再建された。現在ノリの種苗を漁業者の注

職員5人。ノリを主軸に、放流用のウニ・ナマコの種苗を生産している。ノリは、地場産を元に、選抜・品種改良など、養殖に適した種苗の作出にも力を入れている。



平成4年に七ヶ浜町が設立、同19年に旧七ヶ浜町漁協に譲渡された種苗

生産施設。平成20年に当組合に移管されて技術面における水産業振興の拠

技術で栽培漁業の根幹を支える

九州で長年品種改良に携わってきた森永公平さんを顧問として新たに迎え、その指導の下に種苗生産や品種改良に本格的に取り組みようになった。その結果品質も上がり、七ヶ浜だけでなく多くの漁業者から注文が入るようになった。現在生産能力は32万枚に達し、注文が殺到する。現在「師匠」から手ほどきを受けた大西孝尚さんはじめ職員の手に委ねられ、森永さんは時々様子を見に来る。

宮城県の環境に適した、地場で採ったノリの種苗を元にして養殖用の新たな品種を作出することとは開所当時から目標のひとつ。また地球温暖化に備え高水温に適応で

また指導部では、東日本大震災で失われた組合員の生産施設や漁船の早期復旧を目的として設立した北部・中部・南部の施設保有漁協の事務運営を、復興対策室から平成30年に引き継いだ。今年4月、ある程度の復旧のめどが立ったということで、宮城県漁協と吸収合併を果たし、その業務を終えている。

令和2年の漁業法改正で、TACの導入、海面利用制度、密漁対策などが改正制定された。来年9月には区画漁業権・共同漁業権の一斉更新がひかえており、それに向けて現在支所ヒアリングなどを実施し、漁場を適正かつ有効に利用できる環境整備も進めており、土

ホタテ、ギンザケ、ホヤ

「さばいどる」が魅力紹介

PR動画にかほなんさん出演

大手酒造メーカー、白鶴酒造（神戸市）の公式YouTubeチャンネル「白鶴ベース 漁港巡り」で、宮城県が誇るホタテ、ギンザケ、ホヤの魅力を紹介する動画が公開されています。JFグループが推進する「プライドフィッシュ」プロジェクトの一環で、JF全国漁青連も協力。当組合員が案内役を務めています。

組合員案内、ユーチューブ公開



漁師自慢の魚介類をPRする動画の一場面(左)とも左がかほなん

3本の動画とも、サバイバルするアイドル「さばいどる」としてユーチューブでも活躍中のかほなんが出演。石巻・鮫浦女川・尾浦両漁港を訪れ、ホタテの洗浄やギンザケの餌やり、ホヤのさばき方を体験した様子などが収録されています。



同社のロングセラー商品「まると」一緒に試食したかほなんは、両手で頭上に丸の形を作っておいしさに太鼓判。案内役の大坂善治さん（女川町・ホタテ）、鈴木保さん（同・ギンザケ）、阿部誠二さん（谷川・ホヤ）も笑顔いっぱいです。QRコードから無料で視聴できます。